

自己評価及び外部評価結果 R5-1

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「今日も一日楽しく有意義に過ごす」の理念は、職員の目につく玄関に掲げ、職場に来たら気持ちを切り替え、利用者様、スタッフ同士でも笑顔と挨拶を心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染が収束しておらず以前のような地域との交流の場はありませんが、近所を散歩した時に挨拶を交わしたり町内会の段ボール収集に毎月協力しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染が収束しておらず地域の方と接する場を作ることは難しいですが、5月より運営推進会議に町内会代表の方に出席して頂き、ホームの様子を伝え、ご意見も伺っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5月よりホームで町内会代表の方・民生委員・包括支援センターの方に、コロナに対する取り組み、行事の取り組み・行事の報告・事故報告等を行いご意見を頂いています。御家族には報告書を送付しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者へは、ホームで取り組みしたものについては報告書を提出し、そのときにアドバイスをもらっています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年度の初めには、ホームの指針を職員に伝えました。身体拘束委員会を定期的に開き研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を定期的に開き研修を行い、自己を振り返り、ホームとしてはどう考えるかの機会になっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフ会議の中で、日常生活支援事業や成年後見制度について研修し学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時には、ホーム長が利用者様とご家族に十分な説明を行い、疑問にも丁寧に答え不安のないよう努めています。退去時においても、安心して退去できるよう支援していきます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ感染が収束しておらずご家族にゆっくりご意見を伺うことはできませんが、ビニールシート越しの面会時や電話で伺うなど、利用者様の様子や体調面などをお伝えしています。また、担当者が個別でお便りを出し写真を添えて生活の様子等をお伝えしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の全体会議や業務中に職員の意見や要望を聞き、反映するよう努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の事情を把握し、働きやすい時間の勤務を可能にしています。資格手当・昇給やボーナスの支給が有り、有給の取得にも努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得には勤務調整を行い、費用面でも援助があります。また、法人外のオンデマンド研修の機会確保にも努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ感染収束しておらず、同業者との交流は行っていません。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談で、御本人・御家族より生活層、現在の生活の様子を聞き取りしています。入居前に在宅時のケアマネから資料をもらい、スタッフに伝え、生活状況等の確認をし、その人らしく生活できるよう支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、御家族と面談の時間をもち、不安な事、求めている事、困っている事をお聞きし、その言葉を真摯に受け止め、御家族との信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、看護師、ケアマネが対応し、ホームの中でどんな支援が必要なのかを考え、ケアプランを作成し、職員全体で共有し、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり、畳んだり、調理の手伝いなど本人のできる事や、したい事を職員と一緒に会話を楽しみながら行い、良い関係を築いています。又、ご本人の持っている能力を伸ばすよう、あるいは長く維持できるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用料の支払いは出来るだけお持ち頂き、その際に利用者様の様子を伝えていきます。月初めには、ホームの様子や行事等の写真、担当職員からは自筆の手紙を送付し、御本人の様子を詳しくお知らせしています。ケアプラン更新の際はご家族の御意見を伺い参考にしていきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様や馴染みの人との関係は継続したいのですが、コロナ感染収束しておらず、その時々に合わせてビニール越しに面会する等の対策をし、利用者様、ご家族の関係を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り盛り付けや片付け等のお手伝いを一緒にしていただいています。また、ドライブ等の外出を通して関わりが持てるよう努めています。塗り絵やカルタ、パズル等レクリエーションを行い楽しみを共有できる場の提供しています。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族からの要請があった場合は対応しています。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人がどのような生活を望んでいるのか思いや希望を傾聴し意向に添えるよう努めています。意思表示の困難な方は、御家族からの情報を踏まえて利用者様主体で生活できるよう支援に努めています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から、フェイスシートにて生活歴や生活環境についての把握をしています。又、御家族や利用者様の会話からも情報を得て生活に反映できるよう努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりの表情やバイタル測定で体調管理を行っています。一日の様子を生活記録に記入し、変化があればスタッフ間で情報を共有しています。また、利用者皆様のできること、好きなこと、苦手なことを把握し支援に努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員は常日頃よりご本人の気持ちに寄り添うよう努め、毎月会議でモニタリングを行っています。ニーズ課題を話し合い、その人らしく生活できるよう介護計画を作成しています。又、御家族に意見要望を伺い介護計画に反映しています。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付いたこと、変化は生活記録や気づきシートを使い職員間で情報の共有・実践を行っています。体調や状況が変わったときはケアプランの途中であっても、利用者様にとって必要なプランを再度検討し作成しています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ドライブ等の外出支援や、その時々状況により短時間での御家族との面会を行っています。また、その時に撮った写真を居室に貼る、後家族へは毎月の手紙に添えて送付しています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前は町内会との協力関係がありましたが、新型コロナウイルスの関係で、町内会の方々のホーム行事参加、ホームから町内行事への参加ができなくなり、現在も控えている状況が続いています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医や御希望の病院で診て頂いています。常に御家族と連携を取りながら、適切な医療を受けられるよう支援しています。体調不良時にはかかりつけ医に相談し、受診が必要時には、職員・看護師同行で受診しています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置があり、常に利用者様の体調の報告や相談しながら介護しています。体調急変時は夜間帯でも看護師が出動し対応しています。必要時には病院受診もしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会の制限が続く中、定期的に病院と連絡をとり、状態の確認と御家族からの報告で状態の把握に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	昨年の目標達成計画の「利用者様の終末期の思いを知る」の結果と御家族の希望に添えるよう、充分な話し合いをして、安心して終末期を迎えられるよう最善を尽くし支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナ感染は収束しておらず、消防署の講習は中止になりました。R1年度までは心臓マッサージ・AEDの講習会を全職員で実施しておりほとんどの職員が受講しています。今後は職場内で研修再開を予定しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	コロナ感染が収束しておらず、今年度はホーム内の人員と消防の方で行いました。今後は地域の方の参加を検討しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として一人ひとりの人格の尊重に心がけて声掛けをしています。特に排泄や入浴など同性介助を希望される方は、同性で介助しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が自己決定できるよう普段から今の思いや希望を傾聴しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人一人の体調や気分を把握し、レクリエーションや外出、居室で過ごす、休む等、暮らしのペースを大切に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容の際にはできる限り自分で顔を洗ったり髪を整えていただいています。また、行事の際ははスタッフが化粧や衣服を整え身だしなみの支援をしています。定期的に訪問の理美容をお願いしています。季節に合わせて衣類の衣替えもしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の誕生日にはその方の食べたいものをお聞きし、できる限り希望のメニューとケーキを用意し、楽しんでいただいています。普段から盛り付けや食器拭きもいただいています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事の摂取量を常に記録し、その方の健康状態に合わせた食事を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの支援をしています。入れ歯使用の方は、就寝時洗浄剤を使用し常に口腔内の清潔に配慮しています。自力で行えない方にはスタッフがケアの介助をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、その方に合ったトイレ誘導やパッド交換をしています。できるだけトイレで排泄できるよう支援し、失禁した場合は自尊心に配慮した声掛けや介助をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時には、牛乳や水、スポーツドリンク、10時にはお茶を飲んでいただいています。主食のご飯にはもち麦を取り入れ、昼食時には手作りヨーグルトを提供しスムーズな排便に繋げています。また、毎朝テレビ体操を行い、身体を動かしたり、ホーム内を歩行していただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	定期的に入浴できるよう声掛けをし、拒否があるときは無理強いせず一人ひとりのタイミングで入浴できるよう支援しています。お風呂は入浴剤を使用し、身体が温まりリラックスした気持ちで入浴できるよう支援しています。シャワー浴の方は、足浴で足を温めています。同性介助を希望される方には同性で支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めず、個々のペースに合わせゆっくり安心して眠れるよう見守りを重視しています。日中はアクティビティやレクリエーションを工夫しています。季節に合わせて寝具や室温、衣類も考慮し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬ファイルを作り、用法、用量を把握し、変更のあった場合は記録を確認し誤薬がないよう努めています。毎日2名で、服薬確認表で氏名、日付け、朝昼夜、就薬を確認し飲み終えるまで見守りしています。症状については日頃から観察し、看護師に伝えています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や食器拭き、掃除など利用者様と行い役割と感じていただき、感謝の気持ちを伝え満足感が持てるよう支援しています。毎日のアクティビティやホーム周辺の散歩、ドライブを行い気分転換の支援をしています。また、誕生日やホームのお祭りなどの行事を通して思い出に残るような楽しい企画も行いました。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染が収束しておらず、平日の人出の少ないときや場所を選び、公園や海辺へ出かけました。家族や地域の方との協力は、外部の方との接触を最小限にしているため行っていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ感染が収束しておらず、職員が入居者様の希望を伺い購入するなど気持ちに添って支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様から電話使用の要望があったときは、いつでも使用していただいています。年末には御家族への年賀状を作成するなど、いつでも連絡取り合えるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには、季節感のある飾りつけをし、日常の生活や行事の写真を貼っています。居室・フロアはアロマオイルを使用し、気分が落ち着く心地よい空間づくりをしています。コロナウイルス対策のため定期的にフロアの換気や除菌消毒をしています。食卓テーブルは食事前には必ず除菌消毒を行っています。食器洗いの音等にも配慮しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは好きな場所に座っていただき、ゆっくり過ごせるようソファの配置に工夫し、気の合った利用者様同士で談話や談笑されています。また疲れたときは横になりソファで軽く休めるようにもしています。フロアでは、皆様が楽しめるレクリエーション、カルタ・トランプ・ゲームや塗り絵・パズル・間違い探しなどをされています。数人で歌を歌ったり、テレビを見ていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は御本人の馴染みもの、使い慣れたものを配置し、ご家族の写真を貼るなど落ち着いて過ごしていただけるよう配慮しています。各居室はこまめな空気入れ換えや殺菌効果のあるアロマオイルを使い居心地の良さと、インフルエンザ・コロナウイルス対策をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっており、車椅子・歩行器具の移動ができます。玄関、廊下、トイレ、浴室には手摺りが設置されています。施設内の表示は分かりやすく表示し、居室の表札は利用者様に合わせ工夫しています。		